



家族のための知恵に富む言葉

暗唱 聖句

「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず／常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば／主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる」
(箴言 3：5、6、新共同訳)

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる」
(箴言 3：5、6、口語訳)

今週の 聖句

箴言 5：3～14、マタイ 19：5、Iコリント 7：3、4、
箴言 13：22、14：26、23：13、31：10～31

安息日 午後 4/27

今週のテーマ

現在、私たちが人生のどの段階にあらうと、言うまでもなく、私たちはみな、両親から始まりました（両親との関係があるとして、私たちの生まれたあとのその関係がどのようなものであるかにかかわらず……）。一方で、ある人たちは、兄弟や親戚がいる以外、彼ら自身の家族を（自分が育った家族以外に）持っていません。

私たちの状況がどうであれ、私たちの人生の段階がどうであれ、箴言には、教え、詩、疑問、格言などを組み合わせたものが含まれています。家族関係が真正面から取り上げられており、そのほかの格言も家庭に適用できます。実際、箴言は家族の記録のようなものであり、その中で、信心深い人生を送る秘訣が親から子へ伝えられているのです。大学へ進学したり、独り暮らしを始めたり、家から離れて就職したりする息子や娘に親が助言の手紙を書くように、箴言は、父から子へ宛てられたものです——「わが子よ、父の論しに聞き従え。母の教えをおろそかにするな」(箴 1：8)。申命記は親たちに、彼らの確信を次の世代へ伝えなさい、と命じました。箴言が行っているのは、まさにそれです。私たちはこの父親の勧告の中に、学びなさい、と呼びかけておられる天の父なる神の声を聞くのです。

問1 箴言5:3～14に描かれているように、婚前交渉や婚外交渉に関わる問題や結果を抜き書きしてください。

信心深い人は、その人の最も深い愛情と結婚生活のための性的親密さを（結婚してなければ）取って置き、（結婚していれば）大切に守ります。箴言では、特に男性たちが話しかけられています。女性に関する同様の考えが、雅歌で表現されています（雅4:12～15対照）。違法な愛の強力な魅力は、その罪の恐ろしい結果と天秤にかけられねばなりません。行き当たりばったりの肉体関係は誓いを欠いているので、真の親密さとは程遠いものです。物質的資源や情緒的資源〔特定の情緒を生み出すことのできる能力〕が浪費されてしまいます。最も重要なことに、人は人生において行った選択について神に答えなければなりません。

性的親密さは、神が人間にお与えになった最大の賜物の一つであり、結婚生活だけの特権です（マタ19:5、Iコリ7:3、4、ヘブ13:4）。箴言において、滋養のある豊富な水という比喩は、結婚した夫婦が愛し合うことにおいて得るはずの喜びや満足の微妙な象徴として使われており、これは、誠実さがなくなるときに結果として生じる無駄遣いと対比されています。「若いときからの妻」（箴5:18）という表現は、夫婦が年を取っても、彼らの誓いが続かねばならないことを示しています。夫は妻の魅力に、いつでも夢中な（「酔う」〔箴5:19〕）のです

人間の墮落した状態では、性の本能が、性生活に対する神の御計画から人をそらせてしまう可能性があります。しかし神は、論理的に考え、選ぶ力も人間に与えてくださいました。このような誘惑は、絶えず抑え込まなければ、私たちを圧倒する可能性があります。結婚の性生活に対する神の御計画にきちんと誓いを立てることで、不倫関係の発生を防げるのです。生涯にわたって神のこの御計画に忠実であろうとする選択は、単に賢明であるばかりでなく、豊かな報いをもたらします。

◆ 結婚生活を破壊しうる性的誘惑と戦っている人を知っているとしたら、あなたはそこにどんな助言を与えますか。

問2 子どもに長期的な影響を及ぼしうる父親の品性の資質で、箴言の中に記されているものを書き出してください。

箴言 13：22、27：23、24 _____

箴言 14：26 _____

箴言 15：1、18、16：32 _____

箴言 15：27 _____

箴言 29：17 _____

父親たちの品性は、子どもたちと、彼らが子どもたちに残す遺産とに、直接的な影響を及ぼします。子どもたちは父親に、支援、ひたむきな愛情、導き、模範を求めます。箴言は、信頼できる一家の大黒柱、家庭の資源を賢明に管理する父親を称賛しています。いろいろな意味で、「不正な利をむさぼる者はその家を煩わせる」(箴 15：27、口語訳) のです。父親は、仕事よりも家族を優先する心づもりでいなければなりません。信心深い父親は、忍耐強く、感情を制御しようと努めます。父親は、子どもたちが彼らに依存することを妨げません。彼らは子どもたちをしつめますが、自分の権威ある立場を悪用しないように気をつけます。最も重要なことに、献身した父親は、子どもたちの歩みを正しく導けるよう、神に従い、神の愛と聖書の教えによって制御されたいと望みます。

結局のところ、父親が子どもたちのためにできる最も重要なことは、彼らの母親(妻)を愛することです。彼女に対する父親の忠実さや変わらぬ愛情(あるいは、その忠実さや愛情に欠けること)は、子どもたちが成人になってからも、彼らの幸福に明らかな影響を及ぼします。

箴言では、神への忠誠、結婚生活と家族への誓い、私生活や社会生活における誠実さが中心的な主題です。あらゆることにおいて、成功は個人の心の状況によって決まります。(セックスであれ、怠惰、富、権力であれ) 罪の誘惑はあふれていますが、賢明な夫や父は、絶えず正しい選択ができるよう、神に助けを仰ぐのです。

◆ ここであらわされている道徳的原則は、父親であるなしにかかわらず、だれにとっても、いかに重要ですか。良きにつけ、悪しきにつけ、あなたの行動はほかの人に、とりわけ子どもたちに、どのような影響を及ぼしてきましたか。どのように、あなたはもっと注意深くあるべきでしたか。

問3 箴言は、子どものしつけや懲らしめの重要性について、どのようなことを教えていますか。箴10：17、23：13、14、29：1、15

時として親たちは、何が社会的に許されない行為であるかを理解させたり、不服従を罰したり、自分が恥ずかしい思いをさせられたときに不愉快さを表明するために、自分の子どもをしつけます。しかし、このような幼い家族へのしつけに関する神の思いはどのようなものでしょうか。箴言は、しつけを未来への希望と関連づけています（箴19：18）。信心深い親たちは、子どもに罪深い性質があることを知っています。このことに関して、ただ一つの力だけが親たちを助けることができますが、その力とはキリストです（『教育』21ページ）。クリスチャンの子育ての使命は、しつけも含めて、子どもたちを神へ導くことです。

若枝を支える キリストを通して、しつけは罰とか権威の行使とかではなく、^{あがな}贖いのための懲らしめとみなされています。神の御計画は、愛情にあふれ、罪の力を知る親たちが、子どもたちの歩みをキリストへ導くことです。思いやりのある親たちは、優しく、毅然として懲らしめ、幼い時期を通じて、子どもたちをがまんさせ、指導します。それは、園芸家が新しく植えられた木を支えてやるのと同じで、子どもたちに自制心があらわれ、若者が神を信じ、救済、成長、成熟のための神の御計画に協力するようになるまで続くのです。

問4 箴言13：24、23：13、14には、親たちのためのどのようなメッセージがありますか。

全体的に見て、子どものしつけとの関連で「^{むち}鞭」（あるいは「杖」、ヘブライ語で「シェベト」）に言及している聖句はわずかです。クリスチャンの子育てに関する文献では、親が鞭を使うのは、天の羊飼いが群れを導くために鞭を使われるのと似ているべきだという考え方が一般的です（詩編23：4）。聖書はほかの箇所でも、子どもの変化に影響を及ぼすために次のようなことを挙げています——忍耐強く教えること、一貫したモデルを示すこと、良好な意思疎通を行うこと、密接に関わること（申11：18、19）。しつけが懲らしめと贖いに関して望ましい効果を得るためには（箴13：24）、子どもたちが親に愛されていると感じていることが不可欠です。

◆ しつけが厳しすぎたり、誤解されたりすることで、意図した目的から離れたとき、親たちは自分の子どもと、その状況をいかに改善することができますか。

問5 箴言は、家庭生活におけるいら立ちの上に、いかにユーモアを振りかけていますか（箴言21：9、19、27：15、16）。このようなユーモアには、どんな効果がありますか。

多くの箴言は、親しい関係の中での互いの接し方に注目しています。それらは、「苦しむ心に向かって歌をうたう」（箴言25：20）無神経な友人や、「大声で」（同27：14）眠っている者たちを「祝福」（同）する早起きの家族に関する箴言のように、軽いタッチで、機転の利いたユーモアを交えながら訴えています。論争好きな女性に関する聖句を読んだ妻たちは、男性に関する箴言も加えてほしい、と思うかもしれません。彼女たちは、こういうことわざが、家庭環境の責任を共有する夫たちも等しく喧嘩腰になりうるのに女性だけを標的にすることで、まさにこれらの箴言の問題を永続させているのだと、言い返すかもしれません（カイアファやアンナスの家での生活がどのようなものであったか、想像してみてください）。

喜びを抱く心は助けとなる 家庭生活の中にユーモアのセンスを持つのは、良いことです。ユーモアは機械的な生活に油を差し、ストレスや緊張を和らげる助けになります。「心の楽しみは良い薬である、たましいの憂いは骨を枯らす」（箴言17：22、口語訳）。箴言は、至る所で自ら薬を飲み、困らせたり、いら立たせたりする行動をおもしろがる許可を私たちに与えています。ほほ笑んだとき（あるいは、自分が笑われる立場になって、感情を害したとき）に、私たちは、自分たちをいら立たせたり、困らせたりする習慣や行動を話題にする、より良い状況にいるのかもしれませんが。一方で、ユーモアは、真剣な対応を必要とする問題を軽視したり、無視したりするために用いられるべきではありません。

微熱は、慢性感染症の兆候となることがあります。口論、小言、不平は、家族の中に抑圧された怒り（人間関係における相互依存や意思疎通の難しさに結びついた怒り）があることを知らせているのかもしれませんが。不平をこぼしているパートナーは、もう一方のパートナーの力、支配、意思疎通を嫌う姿勢を認知し、それらを相殺しようとします。もしその感染症が治れば、兆候（症状）は消え去るでしょう。家庭において家族は、問題やお互いを避けるのではなく、主に対する愛と、自分の必要と感情を互いに伝え合うという誓いを足掛かりにして、怒りの原因を探り、それを取り除くのです。

◆ なぜ笑いは、家庭にとって重要なのですか。笑いは、いかに善用することができますか。あるいは、不適切に用いたり、悪用したりすることができますか。安息日学校のクラスであなたの答えを発表してください。

問6 箴言は、高潔な品性を持つ妻への称賛で締めくくられています（箴言 31：10～31）。称賛されている品性や資質を見つけだしてください。

ここに描かれている女性は特別ですし、この詩も特別です。箴言 31：10 から始まるそれぞれの節は、ヘブライ語の22のアルファベットの各文字で始められています。人によっては、貴い妻に対するこの賛辞から、ヘブライ語のアルファベット全部ですら、彼女を適切に称える十分な枠組みを与えることができないと感じるでしょう！

良い相手との結婚を箴言が重視していることは、ラビたちの次のような格言の中に反映されています。「男の家は、彼の妻である」。「有能な妻は夫の冠。恥をもたらす妻は夫の骨の腐れ」（箴言 12：4）。箴言の終わりであるここにおいて、裁縫や仕立て、不動産の購入、農業、家庭や財務の管理など、多種多様な技能が理想的な妻の描写の中にひとまとめにされています。一方で、彼女は家族の世話をよくし、家族は彼女を愛し、称賛するのです。

広範囲に及ぶこのような才能は、すべての女性に期待すべきものでもなければ、夫が自分の妻を評価する指標にすべきものでもありません。むしろ箴言は、これらの能力や資質を記してはいますが、最も重要なもの、女性にも男性にも普遍的に関係するもの——信頼性、思いやり、忠実さ、親切、勤勉などの性質——を伝えています。箴言 31：30 によれば、このような生活の秘訣は、彼女が「主を畏れる」ことなのです。

箴言 31：10 において、「有能な」（「賢い」〔口語訳〕、「しっかりした」〔新改訳〕）に相当する言葉は、「強さ」「力」「豊かさ」などを意味します。口語訳の詩篇 62：10 では、この言葉が「富」と訳されていますし、ヨシュア記では、「勇士」（ヨシュ 1：14）という表現で用いられています。ポアズはこの言葉を「立派な」（ルツ 3：11）という意味で用いて、ルツをほめています。箴言 31：10 には、「豊かさ」という概念に基づく言葉遊びがあるのです。真の豊かさは、品性、誠実さ、神に対する恐れの中にあります。それは、宝石に見いだされる価値をはるかに超えるものです。

◆ あなたの人生に影響を与えた勇氣ある女性、有能な女性はだれですか。信心深い女性の品性、資質、徳、能力のリストを、あなたならどのように付け加えますか。

心を天国に向け続ける 「クリスチャンは心を勤勉に保つように注意しなければならぬ。クリスチャンは^{めいそう}瞑想に対する愛を育て、祈りの精神を大事にすべきである。多くの人が、瞑想、聖書研究、祈りに費やす時を、あたかも無駄に過ごしたかのように惜しんでいるように見える。私は、あなたがたがそういったことを、神がお与えになる見方で見ることができればよいのに、と思っている。なぜなら、そうならばあなたがたは、天国を一番大切なものにするだろうからである。心を天に向け続けることは、あなたがたのあらゆる美德に活力を与え、あなたがたのあらゆる働きに活気を添える。天の事柄をじっくり考えるように心を鍛えることは、私たちのあらゆる努力に活力と熱意を加える。……私たちは靈的達成度において未熟なのである（エフェ 4:13）」（エレン・G・ホワイト『SDA聖書註解』第3巻 1157 ページ、英文）。

話し合いのための質問

- ① 多くのクリスチャンは、誘惑から「心を守ろう」とするとき、支援グループのネットワークが助けになるとわかります。それは、祈り、聖書研究、聖霊への信頼などを、いかに増し加えますか。もしだれかが、罪に導く誘惑と実際に戦っており、勝てないようであれば、場合によっては、専門家の助けを求めることは、なぜ良い考えなのでしょう。
- ② 安息日学校のクラスのときに、水曜日の最後の質問に対するあなたの答えを、声を出して読んでください。出席者のさまざまな答えの意味について話し合ってください。神が私たちに与えてくださった多くのすばらしいものと同様、笑いとユーモアは、どのようにして悪用されたり、実際に有害なものへとゆがめられたりする可能性がありますか。
- ③ 箴言 31 章とは対照的に、現代の文化は、女性のどのような資質を称賛する傾向がありますか。私たちは個人として、そのような恥ずべき態度を共有しないよう、いかに自分自身を守ることができますか。
- ④ 一般的に、(あなたの社会での) 家庭生活に対する文化的態度で、聖書の原則と真っ向から対立するのは、どのようなものですか。その一方、聖書の原則と似通っている文化的態度はありますか。もしあるなら、それらはどのようなものですか。私たちの家庭を強めるために、それらはどのように用いられうるでしょうか。